

平成30年度 全国学力・学習状況調査の結果(榛沢小学校)

平均正答率

(単位 %)

	国語A	国語B	算数A	算数B	理科
榛沢小	75	52	68	44	60
埼玉県 (公立)	71	54	62	50	59
全国(公立)	70.7	54.7	63.5	51.5	60.3

質問紙調査より

※質問事項は質問紙調査より抜粋したもの

※「している」「どちらかといえばしている」を合わせた値

(単位 %)

	質問事項	榛沢小	埼玉県	全国
生活習慣	朝食を毎日食べている	100	95.4	94.5
	毎日、同じくらいの時刻に寝ている	90	80.7	77.0
	毎日、同じくらいの時刻に起きている	93.3	90.7	88.8
	学校のきまりを守っている	100	93.5	89.5
学習習慣	家で、自分で計画を立てて勉強をしている	90	71.2	67.6
	家で、学校の宿題をしている	100	98.0	97.1
	家で、学校の授業の予習・復習をしている	93.4	69.8	62.6
	学校の授業時間以外に、平日、1日当たり1時間以上勉強をしている(学習塾等で勉強している時間も含む)	40	66.5	66.2
教科への関心	算数の勉強は好きだ	76.7	64.6	64.0
	算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える	93.3	67.1	64.4
	理科の勉強は好きだ	90	84.2	83.5
	理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える	83.3	68.0	64.7
その他	自分には、よいところがあると思う	93.3	82.1	84.0
	将来の夢や目標をもっている	93.3	85.7	85.1
	人の役に立つ人間になりたいと思う	100	94.8	95.2
	今住んでいる地域の行事に参加している	93.3	60.5	62.7

榛沢小の「よかった点 (○)」と「課題 (●)」

【国語】

- 国語Aでは、「話すこと・聞くこと」の領域問題が100%の正答率であった。しかし、主語と述語との関係に注意して文を正しく書く問題では、33.3%で全国を1.2%下回っていた。
- 国語Bにおいても、「読むこと」「読む能力」が全国より4.2%上回っていた。
- 目的や意図に応じて意図に応じて、内容の中心を明確にして詳しく書く問題では、正答率が3.3%であり、全国を10.2%下回っていた。
- 学習指導要領の領域では「書くこと」の領域に課題が見られる。

【算数】

- 算数Aでは、「数と計算」「量と測定」「図形」「数量関係」の領域では、全て全国を上回ることができた。
- 算数Bでは、「数量や図形についての知識・理解」では、73.3%で全国を1.6%上回っていた。
- 算数Aでは、円周率の意味について理解する問題の正答率が33.3%で全国を8.3%下回っていた。
- 算数Bのグラフの変化に着目する問題では、10%で、全国を10.7%下回り、棒グラフと帯グラフから読み取る問題では、16.7%で、全国を7.2%下回っていた。
- 数学的な考え方が低い。

【理科】

- 食塩水を熱したときの食塩の蒸発について、実験をとおして導き出す結果を各問題では、70%の正解率であり、全国の正答率を2倍以上の34.1%も上回り、理科への興味関心や、結論を導き出す表現力が高かったことが分かった。
- 回路を流れる電流の流れ方について、自分の考えと異なる他者の予想を基に検流計の針の向きと目盛りを選ぶ正答率が30%で、全国の正答率を17.7%も下回っていた。

【質問紙】

- 朝食を毎日食べている・学校の決まりを守っている・家で、学校の宿題をしている・人の役に立つ人間になりたいの4項目が100%であった。
- 算数の勉強は好きな児童の割合が76.7%で他の項目と比べてやや低いが、全国と比較して12.7%も上回っていた。
- 学校の授業時間以外に、平日、1日当たり1時間以上勉強をしている児童の割合が、40%で全国と比較して26.2%下回っており、家庭学習の時間が少ないことが分かった。

【国語】

- ・メモを活用し、話すときや聞くときに要点がとらえられるような学習方法を工夫する。
- ・説明文や論説文などで、要点をとらえるための読み取り方の指導を行う。
- ・漢字、読書や音読の活動を家庭とも連携しながら、文章の中で読み書きできるよう指導する。
- ・言語環境を整えるとともに、国語以外の教科領域での言語活動の充実を図るようにする。
- ・日頃から様々な文や文章を読ませ、筆者の考えや意見、理由や根拠を捉えられるよう指導を行うとともに、良い文の例を視写するなど指導法の工夫を行う。
- ・学習感想を書かせたり、ワークシートを使って記述させたりする活動を継続して行う。

【算数】

- ・個別指導や少人数指導を活かし、問題を解くときに、数直線や図を使って見通しを持たせるなど工夫した授業を展開する。
- ・家庭学習や復習タイムで基本事項を繰り返し指導を行い、習熟を図る。
- ・普段の授業から、日常の事象やグラフなど算数の内容と関連づけ、問題を算数の用語を用いてことばや式を使って表現する活動を行う。
- ・解決した結果をしっかりと振り返り、考察する活動を授業に取り入れる。
- ・数量の関係を捉えるため、その関係を図で表したり、図から読み取ったりする活動を行う。

【理科】

- ・検流計の針の向きや目盛りなど、実験道具を一人一人が正しく読み取ったり、扱ったりできるよう、繰り返し指導、支援を行う。
- ・実験など、動画で撮影し、繰り返し確認したり、予想したことに対して、実験結果を正しくまとめたりすることを指導していく。

【その他】

- ・家庭学習の時間が全国平均と比較して少ないため、学年だよりや保護者会などで話題を挙げ、中学に向けて学習への取組を児童、保護者ともに見直させる。